

中 岳



Top contents

平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会	3
平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 審議員会	5
平成28年熊本地震	10
第40回熊本市歯科医師会親睦大会	22



CONTENTS

巻頭言	大塚 昭彦 理事	1
会長指針		2
平成28年度一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会		3
平成28年度一般社団法人熊本市歯科医師会 審議委員会		5
第49回十四大市歯科医師会専務理事連絡会議		9
平成28年熊本地震		10
平成28年度第1回医歯連携セミナー		15
平成28年度前期歯磨き巡回指導		17
平成28年度第1回学術講演会		19
新入会員オリエンテーション		21
文月会		21
第40回熊本市歯科医師会親睦大会		22
スタディー		24
新入会員紹介		28
スポーツの広場		29
フリートーク	田中 宏	30
会務報告		31
編集後記		

表紙のことば

ラムサール条約登録地
荒尾干潟より雲仙を望む

(田中弥興)

巻 頭 言

熊本地震を経験し思う事



大塚 昭彦 理事

2016年4月14日（木）、この日私は午後休診で、診療後は自宅に戻りゆっくりした。夕食後はTVを見ながら長女、長男の塾の帰りを待っていた。どんな番組を見ていたかは覚えてないが、もうすぐ塾が終わる頃だなーと思っていたことははっきり覚えている。21時26分、前震が起きた。今までに経験のない強い揺れ、で思わずソファをつかみ、じっと揺れが収まるのを待っていた。私は咄嗟に着替え塾へ向かった。地震直後の帯山界限は停電もなく、車の往来も通常と変わらないものだった。ただ道路には人があふれ、お互い“大丈夫でしたか？”と声を掛け合っていた。無事子供達を迎え自宅に戻るとTVで次々と被害の様子が映し出される。まだこの時は正直他人事だった。そして4月16日（土）1時25分本震。ドーンと家全体をハンマーで叩かれたような感じで明らかに感覚が違った。皿が割れる音、地響き、正直揺れが落ち着くまで身動きできず、子供たちに覆いかぶさるのがやっとだった。

私はこれまで2回ほど震度5以上の大きな地震を経験している。1975年、当時住んでいた阿蘇地方での群発地震。揺れる度にこたつに潜っていたことを覚えている。そして1997年、当時は鹿児島大学在籍中で、出向していた川内市の歯科医院で診療中であつた。一瞬で停電し、天井の蛍光灯、エアコンが外れかけ、患者さんをチェアーから急いでおろしたことを覚えている。そして今回の熊本地震が3回目である。50年で3回。幸いなことにいずれも日常生活に支障はきたしていない。

さて、先日ニュースで興味深いことを目にした。日本でのここ最近の大地震は、阪神淡路、東日本、熊本地震と起きているが、これが江戸時代初期の頃と酷似しているというものだった。1596年の伊予地震（愛媛）、豊後地震（大分）、伏見地震（京都）、1611年の慶長の三陸沖地震、1619年の熊本地震、数時間後に大分でも地震が起きた。400年前と似ているのかと思いつつ、インターネットで過去の熊本の地震記事も探してみた。検索しながら便利なものと思いつつ、過去の記録が残っている事に感心し、その大切さを再認識した。これは自身の診療記録についても同様の事が言えるのではないだろうか。

インターネット、パソコン、スマートフォンの普及により、現在は簡単に様々な情報を入手できるようになった。いつでも手軽に必要な情報にアクセスできる。ただし、情報の正確性に関しては疑問が残り、自分で取捨選択する必要がある。便利な反面、つつい後で調べればいいか、その気になればいつでも対応できるという安易な思いがあるのも事実である。会員の皆様も、書籍、講演会で得られる学術的情報が多岐にわたり、迷われてることはないでしょうか？私は、学術担当理事として会員の皆様が“多岐亡羊”とならないように、今後にも必要な情報を取捨選択して提供していきたいと考えております。

頭の中から離れない今回の熊本地震を思い、この原稿を書きながら歯科医師会としての記録という意味での中岳の存在意義を非常に感じています。会員の皆様もこの中岳に目を通して頂き、そして様々な分野で歯科医師会の活動に是非参加、ご協力、ご意見を賜り、現会員全員が後世に伝える役割の一端を担っているとご理解頂ければと思います。

最後になりますが、この度の熊本地震に被災された会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

会長指針



熊本地震から3か月が経ちましたが、いまだに会員の先生方も様々なご苦勞をされていると思います。6月の総会で、多くの議案が可決されました。心より御見舞い申し上げます。熊本

市歯科医師会へのいろいろな団体からの義援金に本会の保有資金を加えて、全診療所に配分することになります。些少ですが、復興の一助になれば幸いです。また一方、本会の歴史の中で大きな変化になる議案も可決されています。これまで色々な場面でご説明をさせていただきましたが、最後に総括を含めてこのテーマを取り上げさせていただきます。

「会費均等割り一本化」

古賀執行部、清村執行部からの懸案であり、3年前の就任当初から取り組んできた課題でした。現在、均等割+収入割と言う形で会費をいただいております。収入割は保険診療から計算するため、支払基金や国保からレセプトのデータをもらわなければいけません。これは個人情報となりますので、永続的にもらえるとは限りませんし、過去に提出を拒否された会員もいらっしゃいました。（その時は説明の上、納得していただいたそうです）また、歯科の収入は保険診療と自由診療が混在しており、その割合は医院によって違いますので、保険診療のみを対象にすると会員の権利の平等が保てないという面もありました。今回は、それぞれの会費の現状をなるべくかえないような形でシミュレーションを行い、一般会員（第1種会員）で均等割8,500円とさせていただきます。この額は、九州八市の中では一番少ない額になります。また、終身会員は実情にあわせて4種に分類し、現状と同等か、それ以下の会費への変更となります。さらに新たに、80歳以上及び休診の終身会員は、会費の免除を盛り込みました。今回の改定で、均等割開始時の平成29年度の本会の収入は平成28年度より減収となる予想ですし、今後の会員構成変化（終身会員の増加）を考えますと、現在の歯科医師会活動を維持するためには5年ごところ見直しが必要だと考えられます。それは、その時の執行部の判断に任せたいと思いま

す。

「会員種別の見直し」

基本的には現状を踏襲し、名称を変更しておりますが、大きく変わった所がいくつかあります。第2種会員（親子会員）の資格が、現在は「血縁」となっておりますが、今回、事業継承を前提とする第三者でも良いとしました。現在の会員やこれからの状況を考えた場合、血縁関係のある後継者がいない場合、そのまま第3者に譲渡、あるいは閉院されると大事な会員の数が減少して行きます。それは会にとりまして大きなマイナスになりますので、ぜひ、会員として診療所を継続していただきたいと思いました。また、当面かかる入会金、入会負担金を少なくし、長期分割にして負担軽減に努めております。また、終身会員の種別の細分化や特別会員の峻別など細かい変更は、既にお配りしているお手持ちの資料をご覧ください。

「支部割りの見直し」

熊本市が平成24年に政令指定都市に移行し、これから区単位の活動が増えてくることが予想されます。本会は、現在の支部割りと区割りが一致していません。他の政令市を見ても、移行後に速やかに再編が行われております。奇しくも今回の熊本地震において歯科医師会としての支援活動を行う中で、行政からの被災状況は区単位で上がって来ており、本会も区ごとに担当を決めて対応をしてきました。今回のような災害は2度と起きない事を願うばかりですが、我々の活動準備としては、やはり区を意識した対応が必要だと実感いたしました。熊本市歯科医師会の市民からの評価を、公的な対応ができるものと高めていくことで、その会員である先生方への市民からの認識を良くすることになると思います。現在の支部に思い入れのある先生が多数いらっしゃることは十分承知しております。旧支部として旧交を温めたり懇親を深められたりする事に対しては、決してやぶさかではありませんので、ぜひ会としての支部は区に合わせた新支部割りを御理解いただきたいと思えます。

我々執行部の任期も残り1年となりました。大きな変更で混乱が起きませんよう、役員一同会員のために努力を惜しまない覚悟ですので、引き続きよろしく願いいたします。風通しの良い歯科医師会を目指しておりますので、何かありましたらいつでも構いませんので忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。

均等割り一本化、区割りに伴う支部割、会員種別の見直しが承認

平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会 定時総会



重要議案に会場全体が張り詰める

6月30日（木）19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、平成28年度一般社団法人熊本市歯科医師会定時総会が開催された。

1. 開会 小野秀樹常務理事

2. 議長及び副議長選出

議長 片山晃紀先生

副議長 齊藤忠継先生

3. 議事録署名人選出

伊東隆三先生

藤波好文先生

4. 物故会員並びに熊本地震による物故者に対する黙祷

物故者

木村義浩 会員



大きな改革の議案です

5. 会長挨拶 宮本格尚会長

【要旨】

皆さんこんばんは。本日は久しぶりの梅雨の晴れ間となりました。月末のお忙しい中そしてお仕事でお疲れの中、ご出席頂きまして誠に有難うございます。地震が落ち着いてきたと思ったら今度は大雨と、どうも今年の熊本は自然に翻弄されている気がします。これ以上被害が広がらないことを祈っています。熊本地震から2か月半が経とうとしています。我々の会員は殆どが日常の診療を取り戻していますけれども、数名の先生たちが建物の損壊で診療できない、又は建物からの退去ということで診療できない方がいらっしゃいます。そういった事態を踏まえ、会の方と致しまして今回はお見舞金といった形で支援させて頂こうと思います。詳しい話は後程出るとは思いますが、本来であれば震災直後にお配りしたかったのですが市の歯科医師会は総会制ということで総会で可決しましたら早々にお渡ししたいと思っております。ご存知のように日歯とか県歯とかは代議員制をとっていますけれども市歯に関しては総会制です。新入会員が入会するときは医道委員会というものが開催されますが、医道委員会の先生から必ず話に出るのが会員の一番の権利は総会に出られること、そして総会で意見を言えることです。今現在会員数が402名となり過去最高となっておりますので、できればこの場にもっと沢山の会員の先生方にご来席いただければと思います。今は委任状で何とか保っている所以我々の方からも出席して頂けるようアプローチも考えていきたいと思っております。

執行部が就任致しまして6月で丸3年になります。我々が当初から取り組んできました大きなテーマである、会費の均等割りへの一本化、熊本市の政令指定都市に伴う区割りに合わせた支部割への移行、会員種別の見直し、そういった大きな改革に伴います議案がございますので忌憚のないご意見を頂きながら、スムーズに進めさせて頂けたらと思いますのでご協力の方宜しくをお願いします。



会費免除について説明

6. 報告

- | | |
|-------------|----------|
| 1-1) 会務報告 | 高松尚史専務理事 |
| 1-2) 庶務報告 | 小野秀樹常務理事 |
| 1-3) 会計現況報告 | 古川猛士常務理事 |
| 1-4) 監査報告 | 蔵田幸一監事 |



審議員会報告をされる秋山 清先生

熊本市歯科医師会会費の免除に関して

高松専務理事より会費免除基準、対象者及び免除期間について説明があった。

【会費免除基準】

- ・診療所の被害が半壊以上及びそれに準ずると判断される者は、平成28年4月分から1年間

【対象者及び免除期間】

会員氏名	歯科医院名	会費免除期間
伊東 泰蔵	いとう 歯科医院	平成28年度分
宇治 寿隆	宇治歯科医院	平成28年度分
千場 正昭	千場歯科医院	平成28年度分
藤岡 憲昭	藤岡歯科	平成28年度分
細川 孔	細川歯科	平成28年度分
菅原 洋	菅原歯科医院	平成28年度分
八木 俊晃		

2) 審議員会報告 秋山 清先生

7. 議事

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算の承認を求むる件 |
| 第2号議案 | 平成28年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算の承認を求むる件 |
| 第3号議案 | 平成28年度熊本市歯科医師会慰金制度会計収入支出決算の承認を求むる件 |
| 第4号議案 | 平成28年度熊本市歯科医師会定款の一部改正(案)の承認を求むる件 |
| 第5号議案 | 平成28年度熊本市歯科医師会諸規則の一部改正(案)の承認を求むる件 |
| 第6号議案 | 一般社団法人熊本市歯科医師会準会員規則(案)の承認を求むる件 |
| 第7号議案 | 一般社団法人熊本市歯科医師会入会金、入会負担金及び会費賦課徴収規則・細則(案)の承認を求むる件 |
| 第8号議案 | 一般社団法人熊本市歯科医師会外部協力組織(支部)規則の一部改正(案)の承認を求むる件 |
| 第9号議案 | 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計補正予算案の承認を求むる件 |
| 第10号議案 | 平成28年熊本地震にともなう特別会計予算案の承認を求むる件 |
- 第1号議案から第10号議案まで全て承認可決された。



震災直後の活動を報告される

8. 協議

1. 熊本地震の経過報告
 - ・高松専務理事より震災直後の活動と現況の報告
 - ・伊東歯科口腔病院理事長 伊東隆利先生より震災直後の活動報告
2. その他

9. 閉会 渡辺猛士副会長

(広報 田尻征久)

熊本地震の経過報告及び3つの大きなテーマについて

平成28年度 一般社団法人熊本市歯科医師会審議委員会



小野常務（右端）による点呼

6月23日（木）19時30分より、県歯会館3階市会議室にて、平成28年度一般社団法人熊本市歯科医師会審議委員会が開催された。

1. 点呼 小野秀樹常務理事

2. 開会 小野秀樹常務理事

3. 議長及び副議長選出

議長 秋山 清先生

副議長 松田 恵先生

4. 議事録署名人選出

西部支部 林 昭宏先生

南部支部 中原 孝先生

5. 物故会員並びに熊本地震による物故者に対する黙祷

東部2支部 木村義浩先生

平成28年3月2日 御逝去

6. 会長挨拶 宮本格尚会長

今日は久しぶりの梅雨の合間の晴れになりましたが、大変蒸し暑い中、診療後に全審議員にお集り頂き誠にありがとうございます。地震の後に先日の大雨と、熊本が自然に翻弄されてい

るように感じますが、これ以上災害が広がらない事を心より祈っております。

多くの会員の先生方が徐々に日常を取り戻していわれていることと思います。しかし残念ながら4名の先生方が震災による建物の倒壊等により休診をされておられ、2名の先生方が、入られているビルに問題が生じて退去を求められているということで、計6名の先生が現在診療が難しいということになっています。その問題が解決しなければ、本当に熊本市歯科医師会が復興に至ったとは言えないと思っています。震災に伴っては、被害の大小はあるとは思いますが、市歯科医師会員全診療所にお見舞金を出させて頂くという予定になっています。それに加えて甚大な被害を被った先生には、さらにプラスしてお見舞金を考えております。

我々が執行部を任されて丸3年となりますが、引き継いだときから協議を重ねてきた3つの大きなテーマがございます。会費の均等割1本化、それに伴う会員種別の見直し、政令都市への移行に伴う区割り、支部割りを合わせるということですが、本日は最終的に先生方に協議して頂き来週の総会を通して決定ということになります。本日は多数の審議事項がありますので、スムーズな進行にご協力をお願い致します。



三つの大きなテーマのご審議よろしくお願いします

7. 報告

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 会務報告 | 高松尚史専務理事 |
| 2) 庶務報告 | 小野秀樹常務理事 |
| 3) 会計現況報告 | 古川猛士常務理事 |
| 4) 監査報告 | 稲葉逸郎監事 |

8. 審議事項

1. 平成27年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算について
2. 平成27年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算について
3. 平成27年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計収入支出決算について
監査報告（稲葉監事）

Q：収益事業の利益がかなり多額になっていますが、今後の考えられている用途を教えてください頂けますか？（北部2 西野隆一先生）

A：前期繰越をした額が867,534円となっています。3月の総会では一般会計の繰り入れを承認頂きました。予定としましては、来年4月以降に均等割等を変えることにより多少収入が減る予定でした。そこで次年度に867,534円を一般会計に繰り入れて一般会計で利用しようと考えていたんですけども、その後に予期しなかった熊本地震が起きました。そのため結果的に特別会計で赤字が見込まれます。よって利益を今年度に入れるか来年度に入れるかは今後考えたいと思っています。現状としましては、465,440円の収益事業の会計がプラスになることに

対して税金がかかってしまいますので、一般会計よりも税率が高くなってしまいますので支出を増やすということで、職員の給与を一部、収益事業会計のほうから使うようにさせていただきます。色々と考慮し、節税をはかりながら収支をあわせる方向に持っていきたいと思います。
(執行部)



収益事業の利益について質問

4. 一般社団法人熊本市歯科医師会定款の一部改正（案）について
5. 一般社団法人熊本市歯科医師会諸規則の一部改正（案）について

Q：規則以上は総会で決議するということですが、理事会で決定された規定に関しては、審議委員会には報告のみという形になるのでしょうか？（北部3 谷口守昭先生）

A：現状では報告という形になります。
(執行部)

Q：もし審議員から異議等が出た場合でも、それは理事会決定ということでそのまま総会に上げるということでしょうか？（北部3 谷口守昭先生）

A：理事会で決定した案に対して審議員会で異議が出たら、次の週の総会には、そのような意見があったということを踏まえて通させていただきます。もちろん検討はしますが、審議員から総会までに理事会を開催する時間はありません。御意見があった件に関しては、理事会で臨機応変に対応させていただきます。（執行部）



理事会決定の規定について質問します

6. 一般社団法人熊本市歯科医師会準会員規則（案）について
7. 一般社団法人熊本市歯科医師会入会金、入会負担金及び会費賦課徴収規則・細則（案）について
8. 一般社団法人熊本市歯科医師会外部協力組織（支部）規則の一部改正（案）について

Q：第3条5に、正会員の中から選出という文言があるが、その選出方法は市歯科医師会の中で決まりがあるのでしょうか？（北部1 田ノ上輝先生）

A：現在のところありません。（執行部）

Q：現在の自分の支部が北部1なのですが、支部長の決定の時は、代々前支部長が次期支部長に直接お願いをしていました。新しい支部になっても、このような形でよいのでしょうか。それともある程度市歯科医師会が方向性を決めていくのでしょうか？（北部1 田ノ上輝先生）

A：今回の支部長の先生方に関しては、出来るだけ支部長の経験がおありの先生方をお願いをしました。今後の支部長の先生方にも私たち執行部からお願いし、決めることも可能ではあるかと思いますが、あくまでも外部協力組織ということで、支部の先生方で新しい支部の方向性を決めて頂いたほうがよいかと考えています。今後新しい支部長の先生方で支部長会を開催して頂くことになるかと思うのですが、その中で新支部長の決定方法なども

検討して頂ければと思います。（執行部）

Q：では今回の最初の支部長は、決定に当たっては市の歯科医師会執行部からの信任を得ていると支部会員に説明をしてよいのですか？（北部3 谷口守昭先生）

A：執行部の信任であるとおっしゃって頂いて結構です。

総会でこの案が可決しましたら、新支部長の先生方には市歯科医師会から正式な文書をお送り致します。今後の任期等は、新支部の先生方の中で決定をして頂きたいと思います。（執行部）



支部長の選出方法についてお尋ねします

9. 平成28年度熊本市歯科医師会一般会計補正予算案について
10. 平成28年熊本地震にともなう特別会計予算案について

Q：実際の1診療所あたりのお見舞金の金額はいくらなのでしょう（北部3 谷口守昭先生）

A：1診療所に対して3万円を予定しています。現状が非常に困難であると判断される先生方には、5万、10万の追加を考えています。（執行部）

9. 協議

1. 熊本地震の経過報告

Q：震災後の活動、本当にお疲れさまでした。震災後すぐに避難所等を回られたということなのですが、交通費等の支給等はあったのでしょうか？（北部1 西野

隆一先生)

A：震災直後の1, 2週間避難所を回り、物資を運んだりしたことに関しましては、完全にボランティアということで対応致しました。現在行政のほうから3, 4件ほど避難所の口腔ケア等の要請がきておりますが、その際には、出務対応として



多くの質問に答弁する高松専務

旅費を発生させています。(執行部)

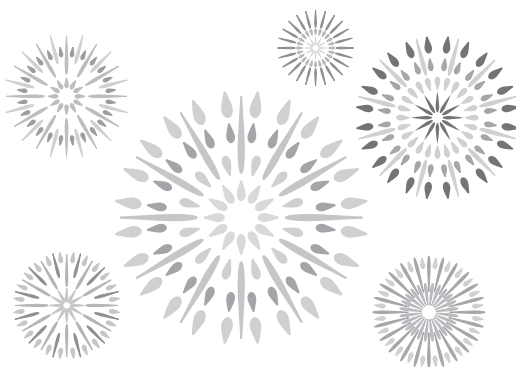
2. その他

Q：新しい支部を発足させるに当たり、分担金が不足している問題もあるので、その点も市歯科医師会で考慮して頂けないでしょうか？(北部3 谷口守昭先生)

A：今後新支部長会などの会合で意見を頂き、前向きに検討していきたいと思えます。(執行部)

10. 閉会 田中弥興副会長

(広報 境 大助)



東日本大震災（2011年3月11日（金））から5年を経過して

第49回十四大市歯科医師会役員連絡協議会専務会議

十四大市歯科医師会役員連絡協議会は、全国に20ある政令指定都市のうち、14の政令指定都市（札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・横浜市・川崎市・新潟市・名古屋市・神戸市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・熊本市）の歯科医師会が加盟している協議会である。ちなみに京都市は、区歯科医師会のみで、市歯科医師会は存在しない。また、政令指定都市の歯科医師会は、県歯科医師会に所属していない歯科医師会もいくつかみられる。つまり、県歯科医師会の下部組織としての歯科医師会ではなく、並列して存在し、活動しているのである。地方の歯科医師会には想像もつかないことであるが、都市部では多くみられる形態のようだ。この連絡協議会は、このように複雑な政令指定都市特有の2重行政からくる様々な懸案を横のつながりによる情報提供により解決し、政令指定都市の歯科医師会という立場から活動を行おうとするものである。本会は2年のオブザーバーの時期を経験し理事会で協議した結果、一昨年の福岡市で開催された協議会本会議において正式に参加を表明した。

今年の協議会本会議は、仙台歯科医師会主催で行われる。7月9日（土）15時より、専務会議が仙台市の宮城県歯科医師会館で行われた。協議会本会議にむけての打ち合わせ的なニュアンスの会議である。第49回になる本会議は、メインテーマを「東日本大震災（2011年3月11日（金））から5年を経過して」とし、10月22日（土）に開催される。熊本地震が発生する前の昨年より、仙台歯科医師会ではこのテーマの基に準備が進められていた。仙台空港をはじめ東日本大震災で被害のあった地域を経て会場に到着したが、仙台歯科医師会会長より、仙台市では5年の復興計画をたて、現在ほぼ復旧しているという挨拶があった。確かにあの時の被害の跡は見あたらない。熊本市も仙台市の復興計画



義援金に対して熊本市歯会より謝辞を述べるを参考にしてしていると聞く。5年のうちには、新しい熊本市ができるであろうと確信した。また、本会議でのパネルディスカッションでは、災害対策の現状と展望などを中心に進めていくことも決定している。今回の熊本地震をうけて、各歯科医師会も現実的に自分達にも起こりうる年として考えながらの本会議になるであろう。南海トラフ発生では、協議会の川崎市・横浜市・千葉市などはほぼ全滅で、名古屋市も影響が大きいと認識されていた。全国の歯科医師会との協力体制の構築は、必要不可欠になると思われる。

最後に、熊本地震発生の早い時期に協議会参加歯科医師会より義援金をいただいた。その呼びかけは仙台歯科医師会であり、ご自身方の経験によりいずれ物資は不要になり、義援金が適切であると判断され取りまとめられている。加盟もない本会に対しての心遣いに各歯科医師会に感謝申し上げたい。また、専務会議報告とは関係ないが、個別に仙台歯科医師会・福岡市歯科医師会・長崎市歯科医師会・鹿児島市歯科医師会から義援金をいただいております。広島市歯科医師会は日赤に義援金を送られている。この場を借りて感謝申し上げます。

（専務理事 高松尚史）



平成28年

熊本地震



＜はじめに＞

天災は忘れた頃にやってくる。私たちは忘れていたのではない。想定外なのである。国内の関心事は、もっぱら南海トラフと原子力発電所の対策であった。今でこそ熊本地方には活断層が多く、全国の活断層の中でも地震発生確率が高いと専門家は声を上げているが、彼らでさえ想定外なのである。



一階駐車場が潰れたマンション

思い起こせば平成26年9月九州八市会長専務会議において、宮崎市から「南海トラフ」の対策についての協議が出された時が身近な話題の最初であった。その当時は、九州西部沿岸地域に限定された想定される出来事として不問にふし、災害時の協力を申し出る程度であった。しかし、宮崎市郡歯科医師会では翌年の平成27年1月に災害対応アクションカードを制定し、災害時の各自の役割分担や行動指標を策定していた。実は同様の対応が身近でも行われていた。



アーケードが一部落下する

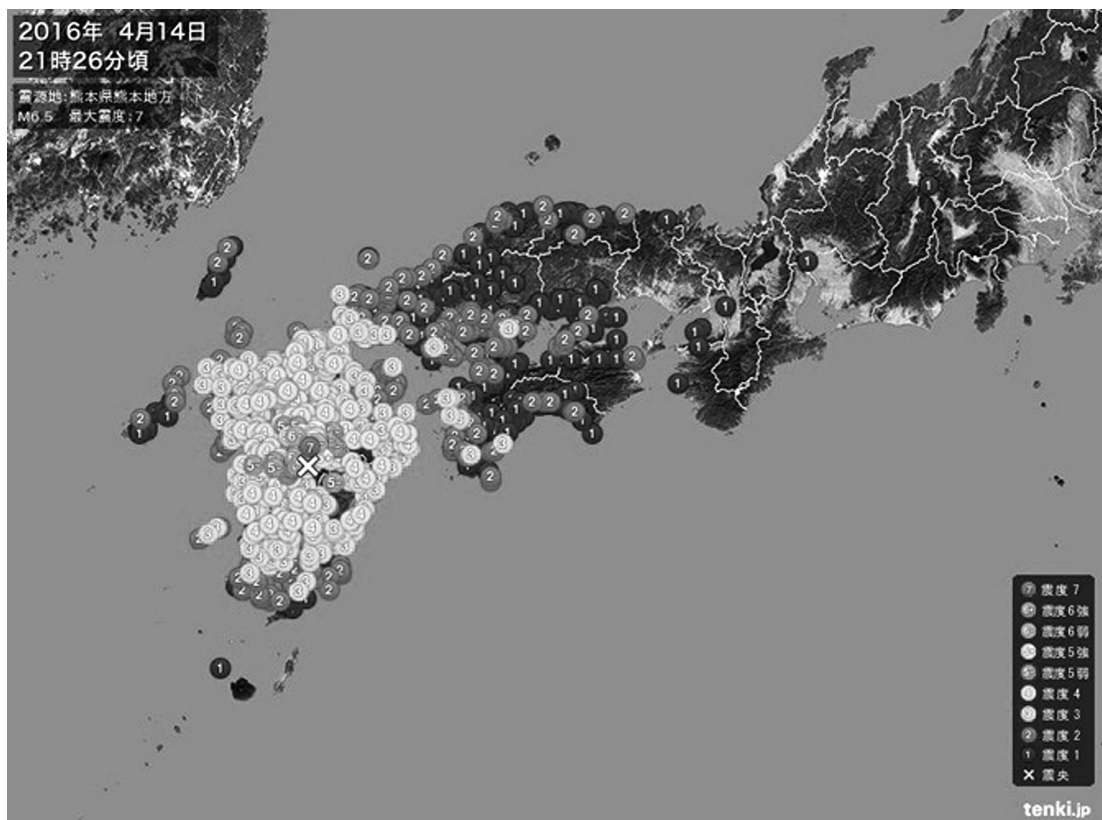
熊本県歯科医師会（以降県歯）は、平成25年9月に熊本県から災害対策基本法に基づく地方公共機関の指定を受け、翌平成26年3月には災害関連マニュアルを策定している。今回の熊本地震における県歯の対応手順は、これを参考にして行われている。また奇しくも、今年度仙台市にて行われる十四大市政令指定都市会議にて検討される内容の一つに、大規模災害時における協定書についての項目がある。

一方、熊本市歯科医師会（以降市歯）では、平成24年4月に熊本市が政令指定都市に移行して日が浅いため、災害時に独自で活動する規範を制定するにいたっていない。もっぱら政令指定都市の歯科医師会としての運営と、熊本市及び各区との協力連携体制を充実させることに終始していたことは、反省すべき点でもあろう。

＜フェーズ0＞災害発生時の初動対応

（災害発生～24時間以内）

4月14日（木）は午後2時から熊本市市役所を訪問し、今年度新任した健康福祉局局长・部長と面会し、今後の口腔衛生行政への協力依頼をした。いわゆる、いつもの風景である。しかし、それは突然発生した。午後9時26分、小さな揺れから始まった。熊本地方は日頃から地震は少なくないので、いつもの揺れとたかをくくっていた。しかし、揺れは益々強くなり、途中で携帯の緊急地震速報のサイレンが鳴る。十数秒は続いたであろう揺れがおさまリ、事の大きさを



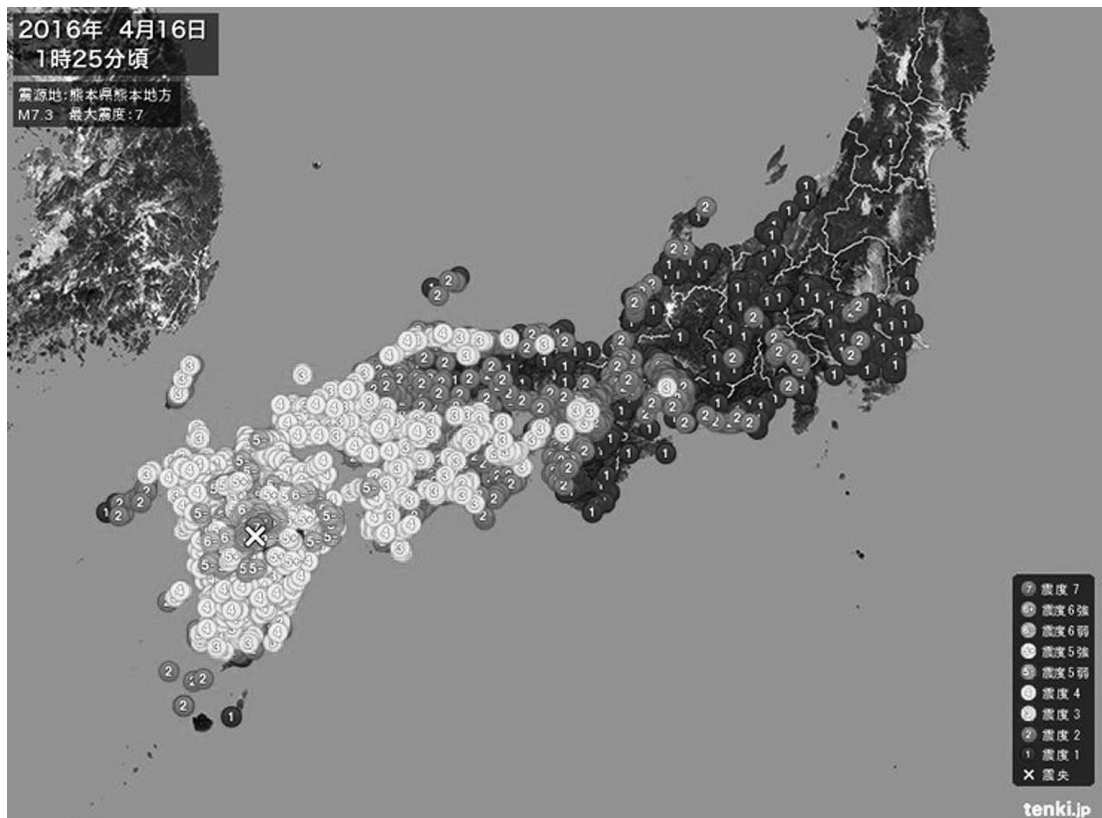
認識する。後日確認すると、M6.5、震度7 益城町、6 強東区・西区・南区、5 強中央区・北区であった。夜中まで時折大きな揺れを感じる。大きな地震は以下の通りである。10時7分M5.7、震度6 弱益城町、5 強東区、5 弱中央区・西区・南区。15日(金)0時3分M6.4、震度6 強宇城市、6 弱南区、5 強西区、5 弱東区。当日の気象庁の会見では今後余震が続く見通しとの発表があったが、最初の地震より大きな揺れが発生するとは日本中誰も予想していなかったであろう。

夜が明けたら早速自診療所の整理に取りかかりながら市歯事務局に連絡し、会員の被災状況の確認に着手した。報道などで益城町の被害の大きさを知るが、熊本市内の死者がなく被害の程度はそれほど大きくないと感じていた。十四大市政令指定都市会議や各地区歯科医師から心配するメールを多数いただいたが、益城町限定の災害であり、熊本市は通常通りと連絡した。



土台から倒れた家屋

この日県歯では、第1回災害対策会議が招集されている。今までの日本の地震の状況から、これより大きいものは発生しないと考えるのが筋である。会員からの情報があがってくるのを待ち、少しずつ対応を検討することを考えていた。しかし、当日午後1時集計で、わかるだけでもすでに224ヶ所避難所に5,400人の避難者があったことは後で知ることになる。



<フェーズ1>生命・安全の確保

(24時間～72時間以内)

最初の地震から1日が経ち、揺れも少なくなってきた。このまま落ち着くものと考えていた。しかし、再びそれはやってきた。いわゆる本震である。この言葉もまた、一般国民においては初耳である。16日(土)午前1時25分M7.3、震度7 西原村・益城町、6強中央区・東区・西区、6弱南区・北区。初めて経験する地面の揺れである。揺れが大きいのか揺れが続いたままとなり、再び大きな揺れが襲う。地鳴りとはよく言ったもので、本当に地面が唸っているような音と共に揺れが始まり、遅れて緊急地震速報がなる。震源が浅い直下型地震は、緊急地震速報が間に合わないそうである。揺れが始まった後に鳴るあの音は、かえって不安を増す。私が体験したのは中央区の6強であるが、史上初めて震度7を2回経験した益城町の状況は想像できないものである。また、今回史上初めて1

度の地震で2か所の震度7を計測した。その後、夕方までに震度5以上は以下の通りである。午前1時45分M6.0、震度6 弱東区、5 弱中央区・西区・南区・北区。午前7時23分M4.8、震度5 弱東区・午後4時1分M5.3、震度5 弱西区。本震発生とともに停電となり、一切のライフラインが遮断された。今回の地震では、携帯電話の普及が役にたった。停電時でもSNSやメールなどで、安否確認を行える。全国に揺れが広がり、県外でも特に西日本では大きな揺れを感じたようで、すぐさま心配のメールを受信した。これも、携帯電話からだと状況報告ができる。日常から、携帯電話での情報の発信・共有ができる体制構築の必要性を感じた。内陸で津波もなく火災の発生が少ないためか、熊本市内の死者は少ないことも幸いした。小さな揺れが断続的に起きるため、会としての対応をできる状況に至らない。やはりこのような状況では、被災当事者だけの力で対応するのは難しく、隣接す

る被害のない地域からの協力が必要であろう。



原型を留めなく破壊された家屋

＜フェーズ2＞被災者支援と歯科医師会事業継続計画 (72時間～1週間程度まで)

前震から約80時間が経過し、本震から約30時間経過した18日(月)朝から、市歯の活動を始めた。前震での被害が少なく、本震からすると市歯にとってはフェーズ1にあたる時期になるかもしれない。まずは、会員診療所の被害状況の収集に着手する。あわせて、報道機関への診療可能診療所リストの提供体制をつくった。本震後の16日(土)朝から避難所・避難者数がふくれあがり、把握できているものだけでも最大で19日(火)午後1時273か所、17日(日)午後1時84,492人となる。会長・専務は、18日(月)から1週間は毎日熊本県歯科医師会館で対応を行っていたことを覚えている。19日(火)に市歯での第1回災害対策会議を招集し、本会としての会員・市民への対応を検討する。家屋の倒壊だけでなく余震への不安からの避難者が多く、実態把握が困難を極め、同時期では歯科で必要とされる物資の供給体制が不十分であった。そのため必要数に足りるかどうかではなく早急な対応が必要と考え、市歯でイベントのために備蓄していた歯ブラシ2,537本・歯間ブラシ280本・歯磨剤2,238本の提供を19日(火)よりおこなった。熊本市健康作り推進課に提供し、そこから各区所属の衛生士へ分配し、避難所へ配布する。今回、区ごとの対応の必要性を強く感じた部分である。20日(水)から、市歯としてのtwitterでの情報提供やHPでの診療可能診療所掲載を始める。これらインターネット・SNSを利用したの情報提供

は、混乱しているこの時期には効果的であると感じた。一方、市歯として6月に行う一大イベントは、会場周辺の安全を考慮して中止を決定する。当初より、行政からの様々な報告を受け必要な協力体制を維持していた。この頃になると、避難者数の減少の報告を受け20日(水)午後1時41,063人、避難所から行政を通じての物資の提供や口腔ケアの依頼を待ちながら、いつでも対応できる体制の構築をおこなった。



戦場の様を呈する

＜フェーズ3＞災害後の中長期的対応

(1週間～1ヶ月程度)

熊本市避難所への対応が一段落した21日(木)に、甚大な被害もあり県歯でさえも応援態勢が十分に構築できていない益城町へ、会長・専務で物資の運搬と状況確認に出動した。益城町ではすでに前震から1週間がたち、当初は通りにくかった道も軽く整理してあったが、それでも空襲がおきたような破壊力はすさまじいものがあり、町民の苦労は想像を絶した。22日(金)には、熊本市内でのライフラインの復旧もだいぶ進み、ほとんどの歯科医院が通常通りの診療を始めたため、報道からの診療可能歯科医院リストの受領終了の通知を受けた。また翌週25日(火)には、市歯災害対策会議を開き、今後の支援の方向性を検討する。会員診療所の詳細な被害状況の把握や、避難所の状況調査を手分けして行い始める。1か月経過で避難所約90か所、避難者2,000人と変化してきたため、避難所への対応は要請があった場合に活動を行うことにする。また、福祉避難所3か所への口腔ケア・健診の依頼に、市衛生士会と協力して対応した。

また5月9日(月)には、阪神淡路大震災を経験し中越地震、東日本大震災と各地での支援をおこなってきた神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科足立了平教授、神戸市保健福祉局健康部地域保健課歯科保健担当渡辺雅子課長（歯科医師）と意見交換し、災害対策会議にて今後の対応を検討する。初めにも述べたように、災害時には多方面との協力を得ながら活動を行うことが重要であることを再確認した。

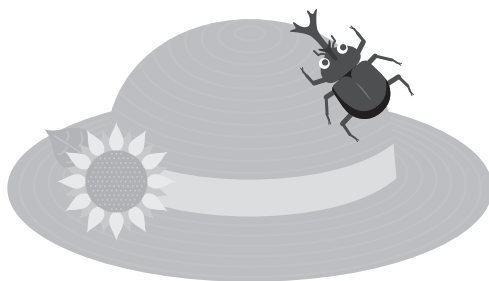
＜フェーズ4＞復興期における対応

（1ヶ月以降）

自衛隊災害派遣部隊や、DMATを始めとする医科支援部隊、日本歯科医師会から各地に要請されていた支援部隊も続々と撤退し、地元の人間による復興が始まる。市歯としては、県歯

も同様であるが、日常と同じようにかかりつけの歯科医院への患者の来院を最終目的とする考えである。それに必要な環境整備への助言や支援、各方面への働きかけを行いながら、早期の復興を目指したいと思う。今回の大きな地震が起きた時刻が診療中であつた場合を想像するとぞっとする。到底、市歯程度の団体で対応できるレベルではなくなるはずである。日頃の会員への災害発生時の対応の周知を行うのが精一杯であろう。最初の時期の被災者・被災診療所への対応の慌たしさはなくなったが、これからも熊本市・熊本県ならびに、県歯・日歯と協力しながら、確実な復興から会員とともに新しい熊本市歯科医師会へと進んでいきたいと考える。

（平成28年6月13日 専務理事 高松尚史）



～明日の歯科治療に役立つための心臓外科疾患～

第70回医歯連携セミナー



多数の質問が出た会場

6月16日(木)20時より国立病院機構熊本医療センター2F地域医療研修センターにて、第70回有病者歯科医療研究会が開催された。今回は「明日の歯科診療に役立つための心臓外科疾患」という演題にて心臓血管外科部長岡本実先生より御講演頂いた。心臓血管外科と歯科との関係について、周術期管理、抗血栓剤使用中の出血、感染性心内膜炎の3点に絞って説明があった。

開演するにあたり熊本医療センター口腔外科部長中島健先生、熊本市歯科医師会副会長渡辺猛士先生より挨拶があり、その後、座長の医療管理委員会理事有働秀一先生より講師紹介が行われた。



中島健口腔外科部長の挨拶

心臓血管手術の流れ、対象となる疾患について
う歯があると感染性心内膜炎の発症、心血管内人工物への感染、術後の栄養障害、誤嚥性肺炎の可能性が高くなるため周術期の歯の状態が

良いことが重要である。周知のことであったが、外来準備期間が短い、手術の成功が最優先(歯は二の次)、術後2週間前後で心臓リハビリ病院へ転院、院内に歯科がないなどの理由によりおろそかになっていた。そんななか国が歯科の重要性についてようやく認知するようになり平成24年の診療報酬改定で周術期の口腔機能管理関連項目として歯科の診療報酬の中に創設された。また平成26年には、周術期口腔機能管理料の術前が増点された。医療センターにおける心臓血管外科の患者の歯の状態は悪く、口腔ケアをすることにより治療効果が上がった。気管挿管・人工呼吸維持中の機械的損傷が少なくなり、ヘパリン使用により粘膜や歯牙の損傷部分からの出血防止、口腔内浮腫予防により人工心肺使用による粘膜損傷の予防など術前の口腔ケア開始後、麻酔科からの評判は極めて良好であった。また術後の誤嚥性肺炎防止、化学療法による口腔への副作用の軽減、放射線療法による口腔領域の障害の軽減などもみられた。

抗血栓剤使用中の出血について

観血的手技に伴う抗凝固療法の中断によって生じる血栓性イベントは、ワーファリン休薬100回につき1回の割合で血栓塞栓症が発症し脳梗塞のリスクを高めている。最近では休薬せず抜

菌を行うのが基本的な考え方になっている。最近、新規経口抗凝固薬（NOAC）が増加している。NOACはワーファリンと比較して、吸収が早く、半減期が短く、食物の影響を受けず、薬物の相互作用も少ない。また頻回なモニタリングが不要で、脳卒中と全身塞栓症の予防効果はワーファリンと同等かそれ以上、大出血発現率はワーファリンと同等かそれ以下、頭蓋内出血発症率はワーファリンより大幅に少ない。このような観点からNOACはワーファリンより一步前進した抗凝固薬である。抗血栓療法患者の抜歯時の留意点として、PT-INR3.0以下であればワーファリン継続下に抜歯可能（ただし埋伏歯や骨削除を伴う難抜歯では注意）である。少なくとも処置の72時間以内にPT-INRをチェックする。ワーファリン非服用者より30分程度長めにガーゼで圧迫止血する。処置に伴う抗菌剤・鎮痛剤（アセトアミノフェン、特にNSAIDs）・食事量低下に伴うPT-INRの延長に気を付ける。抗血小板薬併用例も継続下に処置を行う。チクロピジン（プラビックス）、エフェイント内服中の患者は要注意である。薬剤溶血性冠動脈ステント挿入患者は、高容量のプラビックス、エフェイントまたはアスピリンなど重複処方中であるため、主治医へ確認が必須であり、いったん止血が得られても再出血の可能性も説明しておく必要がある。抗凝固剤＋抗血小板剤服用中も要注意である。

感染性心内膜炎（Infective endocarditis 以下IE）について

IEとは、弁膜や心内膜に細菌集簇を含む疣腫（vegetation）を形成し、菌血症、血管塞栓、心障害など多彩な臨床症状を呈する全身性敗血症性疾患である。死亡率が非常に高く、診断や抗菌薬も含めた治療法が著しく進歩したにもかかわらず、過去30年間でほとんど死亡率が変わっていない。院内死亡率は15～20%、IE後1年の死亡率は最大で40%、一度IEを起こした人のその後の相対生存率は、1年、3年、5年でそれぞれ92%、86%、82%と予後は不良である。AHAガイドラインでは抜歯前にリスクに応じた抗菌薬投与を推奨している。人工弁、心内膜炎の既往、先天性心疾患、根治的に修復されてないチアノー

ゼ性心疾患、手術もしくはカテーテルで人工物を用いて先天性心疾患の治療を行ってから6カ月以内に患者、人工物を用いて治療を行ったが人工物を設置した場所もしくはその近傍に上皮化が不完全な部位が残存している患者、心移植のレシピエントが該当する。予防投与すべき歯科治療としては、歯肉や根尖周囲の処置や、口腔粘膜の破綻をきたすすべての処置、投与すべきか迷った場合には感染症科に依頼する。処置の30～60分前に投与し、一般的には成人であれば、アモキシシリン内服サワシリン2g、小児であれば50mg/kg投与する。東京医科歯科大学高齢者歯科学准教授の大渡凡人氏によるとIEは発症率は低いが、高い確率で致命的となりえる重篤な感染症である。口腔衛生状態が不良な場合や、ブラッシングで日常的に発生する菌血症がIE発症に影響し



IEの死亡率は非常に高い

ている点に注目すべきである。しかし、抗菌薬による有害作用は無視できない重要な要因である。各国のガイドラインはIE予防としてのルーチンな抗菌薬投与を否定する傾向にある。様々な意見はあるが日常臨床において、きちんとガイドラインにそった形で患者に十分に説明をして進めていくべきであると述べられ終了した。

その後、会場への質問の時間となり多数の質問にお答えを頂いた。

心臓血管外科疾患において術前、術中、術後管理の際、口腔ケアの有無が予後を大きく左右します。また日常臨床において同疾患を診察する際、各種検査結果の見方、正常値を知ることにより安心・安全な診療や医科の先生との連携が可能になりますので、今後ともぜひ知識を深めていきましょう。

（医療管理 町田宗一郎）

コップ1杯の水でチャレンジ!!

歯磨き巡回指導（前期）報告

平成28年度歯磨き巡回指導は、今年10校中の前期分が地震の影響でどうなるか心配でした。しかし、予定どおり6月7日(火)西区の河内小学校から始まり、6月28日(火)東区の西原小学校まで5校行う事ができました。

今回の歯磨き巡回指導において、地震の影響で多くの方が断水を経験されたことをふまえ、できるだけ少ない水で(コップ1杯)ブラッシング指導を行うことにしました。

西原小学校では児童数が多かったので、3年生123人(4クラス)を3時限目に、特別支援学級を4時限目に行いました。

歯垢染め出し剤で染め出すのですが、最初どうしても躊躇するためなかなか進みません。

他の所に付けてしまわないか、特に制服に付けてしまわないか注意が必要です。

ほとんどの子ども達が、真っ赤に染まってしまっていたので、担任の先生がびっくりしていました。

特別支援学級は31人のため、衛生士会を総動員。

最初全体で歯の講話(人形劇)をして、その後1・2年生、3・4年生、5・6年生の3クラスに分かれてブラッシング指導を行ないました。

1・2年生は、歯磨き絵カードを見ながら歯列をブロックごとに分けて10回ストロークさせ、3・4年生、5・6年生は部分的歯垢染め出しをし、マンツーマンで指導を行いました。

今回、ご協力くださいました学校歯科医の先生、並びにご同伴の衛生士さん方、スタッフの方、熊本県衛生士会熊本支部の皆様方、ありがとうございました。



口の中の細菌です



こうやって磨きましょう



よく磨けました? ハーイ!



みんな準備万端です

(学校歯科 井手裕二)

子ども達の熱心な歯磨きに感心させられる 歯みがき巡回指導に立ち会って

6月21日(火)10時55分(3時間目)から南区の城南小学校で行われました歯磨き巡回指導に初めて立ち会いました。今回は3年生2クラスと、特別支援学級の合わせて3クラスが対象となっていました。地域学校歯科委員会の方から齋木先生と、市歯会事務局から稲葉さん、それに衛生士会の方から多数のDHが来られていました。

私は最初、特別支援学級の方に参加しました。当日は7名の生徒と数名の保護者が参加されており、クマもんを含めた2体の人形を使って寸劇形式の指導が行われました。全員で集中して行うというのがなかなか難しく、結構活発な子供も多く、衛生士会の担当者は苦勞されていました。私もドクター役で少しだけ参加させていただき、虫歯菌を退治しました。その後、3年生の教室に移動しました。私が行った時には既にDH2名による染め出しと、模型を使ったTB

I、それに沿ったブラッシング指導が行われていました。生徒は歯ブラシ、コップ、手鏡、うがいや唾液を入れる牛乳パックを半分に切ったものを持参しており、自分の机に座ったままブラッシングを行っていました。予想以上にみんなが熱心に行っているのには驚かされました。鏡で自分の口腔内の磨き残しを確認し、それをきれいにできた達成感を感じていたようでした。ただ、見ていると大人用かと思われる大きな歯ブラシや、毛先がかなり開いた歯ブラシを使っている子供も見られたので、そのあたりの指導も必要であると感じました。

この歯磨き巡回指導は希望される学校が多いと聞きます。ただ、年度の中で回る事ができる学校は数校であり、学年も限られますのでぜひ各校の学校歯科医の先生方に日頃から積極的に関与していただければと思います。



どれどれ見せてごらん



バイキンマンは手ごわいぞ



おやつ後も歯を磨こう



食べた磨こうね

(学校歯科医 宮本 格尚)

根管治療における難治症例とその対応

平成28年第一回学術講演会



珍しい症例を説明される

7月2日（土）、熊本県歯科医師会館3階市会議室にて東京歯科大学元教授で現在ホワイト歯科グループ熊本統括院長の中川寛一先生より「根管治療における難治症例とその対応」と題し講演を賜った。日常臨床において根管治療で苦勞することが多いためか、多くの先生が参加された。難治症例の原因としてはエンドペリオ病変、パーフォレーション、根管の形態的問題、破折、外傷等があるが、今回の講演ではそれぞれの場合について症例を交えて解説があった。エンドペリオ病変に処置にあたっては、歯髄の生死・適切な根管処置・歯周ポケット環境・動揺度の経時的な測定・マイクロスコプの活用・根面debridementと歯周組織の保護がポイントであり、とくにEnd-first（根管処置を優先）を強調されていた。それは根管が感染している場合は、まず根管処置を行うことで歯周組織が回復するからである。歯周組織はSRPのみを行い、安易にフラップを開けてオーバートリートメントにならないようにすることが必要であること、またエンドペリオ病変ではたとえ生活歯でも積極的に根管処置を行っているとのことであった。パーフォレーションはマイクロ

スコープとMTAセメントにより治癒が期待できるようになったと説明があった。パーフォレーションの処置のポイントは、範囲を正確に確認しパーフォレーション部から根管内に侵入した軟組織の処置をしっかりと行い封鎖することである。軟組織の処置には水酸化カルシウム製剤を用い、封鎖にはMTAセメントを用いることが予知性を高めるとのことであった。根管の形態的問題の例として、臼歯部の5根管の症例を提示された。複数根管の場合、いかに根管の入り口を探せるかがポイントになるのでやはりマイクロスコープやCTの活用が欠かせないとのことであった。他にも形態的問題として槌状根がある。槌状根ではいくつかのタイプがあるが

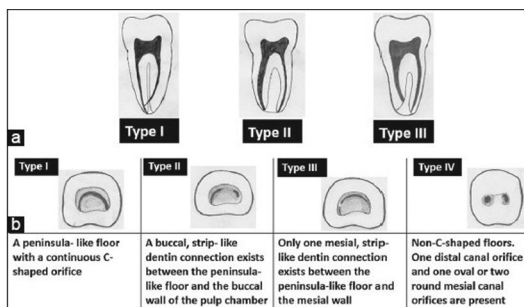


図 1



マイクロスコープとCTを活用して下さい

(図1)、根管の出口を意識しながら治療することが重要となる。この場合もC Tにて根管形態を把握しておくことで治療はしやすくなる。歯牙のFractureとしてClacked Tooth Syndromeを紹介された。これは歯牙にヒビが入った状態で、自発痛、定位できない痛みなど患歯は様々な状態を示すのが特徴で、硬いものより柔らかいものが食べられないことが多い。そのため割り箸などを噛ませての疼痛の有無、破折線の染色による確認、既往歴の聴取などを通じて診断を行う。治療としては、エンドを行い、クラウンを被せることで破折するのを出来るだけ防ぐことになる。珍しい中心結節の破折による歯髄疾患の例として、上顎第2大臼歯頬側咬頭内斜面に発生した結節の破折による症例や歯内歯の根管治療の症例も提示された。外傷歯に関して、根未完成歯では根管治療は不用意に行わないことが重要とのこと。根完成歯での外傷では、根の表在性吸収が起きてセメントが吸収され、象牙質が露出し象牙細管を通じて起炎物質が出されて炎症性骨吸収にいたるので、根管貼薬材としては水酸化カルシウム製剤（カルピタル）を



多くの症例に聞き入る会員

用いるとのことであった。この他、根管拡大が過大に行われ治癒が悪い場合について説明があった。その場合、根管をよく洗浄し水酸化カルシウム製剤（カルピタル）やMTAセメントで封鎖する必要がある。日常臨床において根管治療において症状がとれなくて難治性となるケースでは、①軟化象牙質は除去できているか②仮封はしっかりできているか③次亜塩素酸等による根管の清掃ができているか、もう一度チェックして欲しいとのことであった。以上のようなことをやっても難治性の場合があって、それは根尖部にバイオフィームが形成されていることがある。バイオフィームでは深層の細菌の代謝活性が落ちており抗菌薬が効きにくい状態になっている。根尖部バイオフィームの形成が疑われる根尖性歯周炎の臨床症状として①根管からの持続的な排膿②長期にわたる打診不快感③緩解と増悪を繰り返す臨床的不快感④根尖部のover preparation⑤既存の根管系を逸脱した根管形成⑤ガッターパーチャーポイントのover extensionと根尖部病変といったことが挙げられる。処置は機械的に超音波にてバイオフィームを破壊したり、マクロライド系抗菌剤（エリスロマイシンを含む14員環マクロライド系抗生物質は細菌のつくるバイオフィームを破壊する）を使用する。以上が講演内容であるが、今回の講演から、的確な診断と基本的な手技の他にC Tやマイクロを使いこなしていく重要性を感じた。本当に興味深く、あっという間に時間が過ぎた講演会であった。



大塚理事（右）より感謝状贈呈

（学術 村上 慶）

医療管理と社保を研修

新入会員オリエンテーション

7月9日(土)、15時より歯科医師会館にて新入会員向けのオリエンテーションを開催いたしました。この会は毎年、市歯科医師会主催のビアパーティー当日に医療管理委員会と社保委員会が合同で行うことが恒例となっており、新入会員の先生方は仕事を早めに切り上げ、一番暑い時間帯に来なければならないのですが、今年もほとんどの方に参加していただくことができました。

オリエンテーションは宮本会長の挨拶に始まり、医療管理委員会、社保委員会の順で講演を行いました。医療管理の高橋先生によると、近

年は特に衛生面についての患者からの要望が高くなってきているそうです。衛生面、と聞くと我々歯科医師は感染対策ばかりに気を取られがちですが、ユニットのヘッドレストや待合室のソファ、スタッフのサンダルに至る隅々にまで注意を向けなければならないとのことでした。続いて社保委員会からは、カルテ記載について説明させていただきました。従来よりも検査所見や症状の経過を、より詳しく記載することが求められてきております。皆様もご留意しておかれてください。

(社保 西山挙規)

入会されて日の浅い先生方をサポート

文月会

7月9日(土)、ビアパーティに先立つ18時よりKKRホテルにて市歯科医師会入会2～3年目の会員を対象にした「文月会」が行なわれました。これは各委員会の活動を新入会員に周知し様々な相談を行いやすくする為の企画で今年は14名の参加がありました。

宮本会長の挨拶の後、医療管理委員会の有働



今後の活躍が期待される文月会メンバー

秀一理事より保健所立ち入り、往診、労務に関する説明。(保健所立ち入りでは滅菌・消毒・放射線漏洩測定・資格に対する業務範囲に対する注意、往診に関しては、病診連携・患者さんや家族からのクレームに対する基本的な対応、労務については地震によるスタッフの休業の取り扱い・雇用調整助成金など)さらに、社会保険委員会の渡辺洋理事より、個別指導の選定、昨年度の結果及び今年度の変更点、指導医療官の紹介、特掲診療料の施設基準に係る届出書の提出での注意点の説明をしていただきました。

「文月会」は市歯科医師会に入会されて日の浅い先生方をサポートし入会メリットを体感していただく為、来年も一層内容を充実させて参ります。対象の先生方は来年も是非ご出席いただきます様よろしくお願いたします。

(厚生 添島英輔)



古賀元市歯会会長による乾杯



カメラ目線ありがとうございます



今日はいろいろお話しします



駆けつけ一杯です



恒例となったウェルカムビール



笑顔がすてきです



何はともあれブイ!

熊本市歯 第40回 親睦

第40回熊本市歯科医師会親睦大会（セタバパーティ）が7月9日（土）19時より150名の会員、御来賓を迎え開催されました。（震災の影響で親睦大会そのものの開催が危ぶまれましたが、幸いにもKKRホテルは5月1日より平常営業がなされ委員会一同安堵いたしました）

さらに新年会で大好評だったシオルダーピアサーバーによるウェルカムドリンクが会長、副会長の御三方によりサーブされ、今回もまた大好評。会場と同時に盛り上がり始めます。

一転、開宴は本震災の犠牲者に対する黙祷から。厳かな雰囲気の中、宮本会長の挨拶も犠牲者、被災者への哀悼から未来へ向けての力強いものになり、参加会員全員を復興へ向けて奮い立たせるものになりました。

また、今回は御来賓として熊本県歯科医師会副会長小島博文先生、熊本県歯科医師会常務理事八木義博先生の御二人に御出席をいただき、代表として小島博文先生より熱い御挨拶をいただきました。さらに県歯科医師会からは御樽もいただいております。

その後、熊本市歯科医師会元会長の古賀 明先生の乾杯の音頭で復興祈念し華やかに宴が始まりました。開場に引き続いてシオルダーピアサーバーによる生ビールをはじめ瓶ビール、日本酒、焼酎、ワイン、ウヰスキー等が会話を弾

科医師会 大会

ませ親睦が深まっていきました。

今年のビンゴゲームの景品は震災によりダメージの大きい地域を中心とした県産品を選択し「食べて応援！熊本」をスローガンに地域復興の一助といたしました。何れもビンゴ進行担当の長 忍先生選りすぐりの一品です。因みに景品は下記の通り。

- 田崎の鯉節屋から最高級削り節
- 田崎内のフルーツショップから果物詰め合わせ
- 阿蘇神社復興応援のサイダー
- 阿蘇道の駅から特産品詰め合わせ
- 俵山交流館萌の里から野菜詰め合わせ

大いに会場が盛り上がったところで楽しい時間も終わり、最後は八木義博先生に万歳三唱の御発声をいただき終宴となりました。

今年は夏の風情と伝統を重んじ浴衣しセプタント3名が爽やかさと涼しさを添えたビアパーティとなりましたが、従来の支部による最後の親睦大会でもありました。来年は皆様と新支部構成でお会いできることを楽しみにしております。

追記：来年の新年会は「飲んで応援！熊本」をテーマに県産酒の提供を中心とした復興応援イベントと位置付けて厚生委員会では知恵を絞っております。奮ってご参加ください。

(厚生 嶋田英敏)



当たったよー



ゲットだぜ



いい笑顔の三人



どれでもどうぞ



冷酒はうまい



いろいろご苦労かけました



カメラに気付いてくれました



支部が変わっても飲み会は永遠です



県歯八木常務による万歳三唱

臼歯部咬合崩壊をきたした重度歯周病患者に対して 矯正とインプラント補綴にて咬合再構成を行った一症例

慶歯科医院 村上 慶

I はじめに：

臼歯部咬合崩壊および欠損を伴う歯周病患者においては、歯牙の挺出、捻転、位置異常から咬合再構成に苦慮することがある。今回、臼歯部咬合崩壊をきたしている歯周病患者に対し、歯周病治療とともにインプラント・矯正・補綴にて咬合再構成を行った症例を経験したので報告する。

II 初診：

患者：N・T 59歳 男性

初診日：2010年10月26日

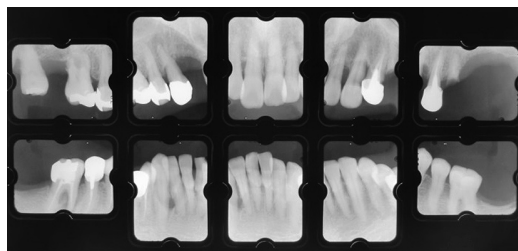
主 訴：

- ・16がしみる
- ・左上にインプラントも考えている
- ・10年前他院にて歯周病と言われたが、何の治療もしてもらえなかったので治療したい

現病歴：16は以前より冷痛あったが放置

既往歴：19歳の時に盲腸 脂肪肝（経過観察）

喫煙歴：なし



21、24、33、34、35、36以外には4 mm以上のポケットを認め、16、14、24、31、16にはI度の動揺度を認めた。

PPD 赤数字=BOPI (+) 黄数字=補綴																	
B	5	4	3	5	3	3	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2
P	5	3	4	5	3	5	2	3	4	2	2	3	5	3	3	2	3
B	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8		
P	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8		
L	3	2	5	3	2	4	3	3	5	6	5	4	3	2	4	3	3
B	3	5	3	2	3	3	2	3	5	6	4	2	2	2	4	2	2
動揺度：Miller																	
B	0			1	0	1			0	0	0	0	0	1	0		
P	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	
B	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	
L				1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
B																	
P																	
L																	
B																	
P																	
L																	
B																	
P																	
L																	
B																	
P																	
L																	

IV 診断：広汎型慢性歯周炎

V 治療計画：

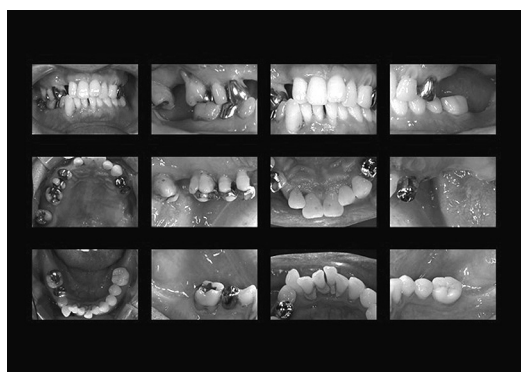
1. 初期治療（TBI・スケーリング、18、16、25、46抜歯）
2. 23、42、43部のFOP
3. 17、25、26、47部にインプラント
4. MTM（叢生の改善、歯牙のポジションの改善）
5. 16、13、46部にインプラント
6. プロビジョナルレストレーション
7. 最終補綴物SET

VI 治療経過

- ・初期治療：（2010年10月～2011年2月）
ブラッシング指導、スケーリング、ルートプレーニング、25抜歯

III 検査所見：

42、43間に著大な骨吸収を認め、46近心根、16遠心根は根尖に至る骨吸収があり上顎前歯部には垂直性骨吸収を認めた。



25. 26部にインプラント

＊早期の左側での咀嚼回復を考え、初期治療中に上顎左側にインプラントを埋入した。25は抜歯即時でインプラント埋入と同時に26部にもインプラントを埋入した。抜歯予定の右側臼歯の歯は最初の初期治療中保存した。



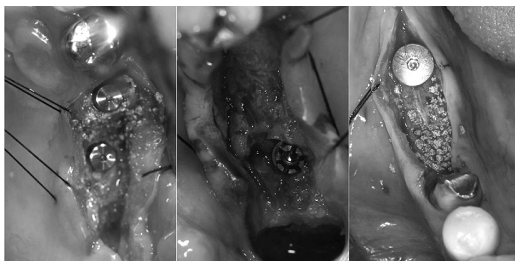
PPD 赤字=BOP(+) 黄赤字=排膿																	
B	P	3	3	3	5	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
B	P	3	3	3	4	2	5	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2
L	B	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	
L	B	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
L	B		3	6	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
L	B		2	5	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2
動揺度: Miller																	
B	P	0		1	0	1		0	0	0	0	0	1				
B	P	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
L	B	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
L	B		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
根分岐部病変: Lindhe & Nyman																	
B	P																
B	P	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
L	B	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
L	B																

2011.3.18基本治療終了時

・再評価 (2011.3.18)

・抜歯

18. 16 (2011.5.25) 46 (2011.5.25)



A

B

C

A: 25.26部にインプラント埋入 (2011. 1. 7)

B: 17部にインプラント埋入 (2011. 9. 6)

C: 47部にインプラント埋入 (2011. 9. 6)

・再SRP

23. 42. 43部は来院の度に根面デブライメントを行った。

・インプラント

17部 (2011.9.6) 47部 (2011.9.6)

・矯正 (2011.9.30?2012.5.9)

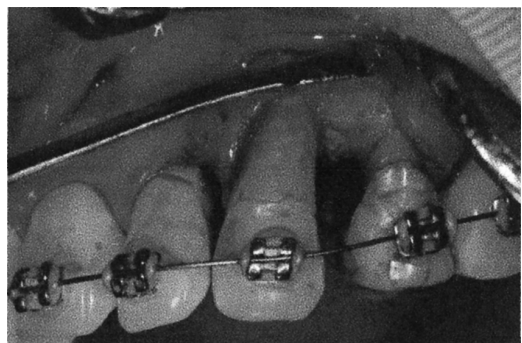
叢生と歯のポジションの改善のため、インプラントをアンカーにし矯正を行った。



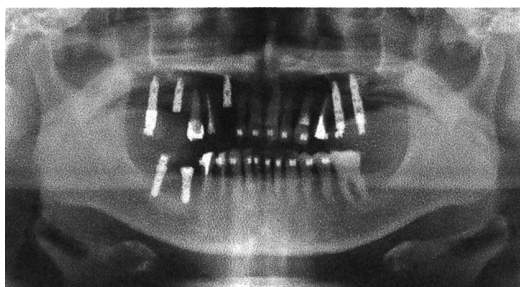
口腔内写真 (2012. 2. 6)

・歯周外科 (2011.12.14)

23部はポケットが残存した。フラップを開けSRP後人工骨 (β -TCP) を補填した。



- ・インプラント（2012.3.8）
矯正後16. 13. 46部にインプラントを追加
埋入した。



エックス線写真(2012. 3. 8)

- ・プロビジョナルレストレーションを装着し顎位の変化を観察する。



口腔内写真(2012. 6. 29)

- ・最終補綴物装着
2013.1.10（下顎）
2013.3.6（上顎）



口腔内写真(2013. 3. 13)

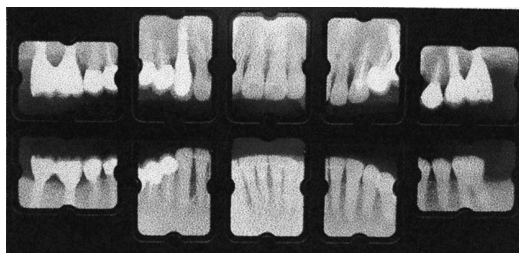
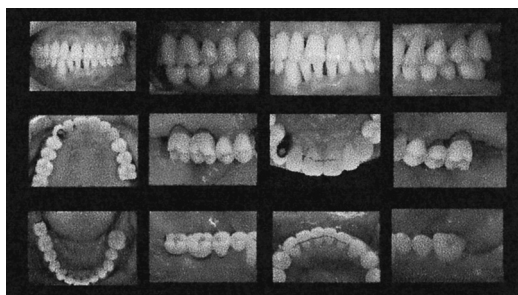
- ・メンテナンス
2013年3月より毎月メンテナンスしている。

43部は歯鎖ラインが不揃いであるためプラークが溜まりやすい。

23は一度失活してしまい感染根管処置を行った。

5 mm以上の歯周ポケットの再発は認めず現在まで経過している。

2016. 5. 12メンテナンス時

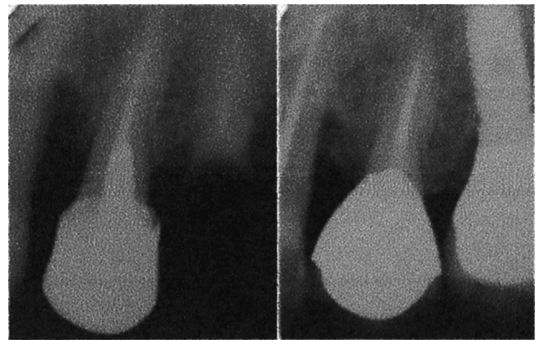
[illegible]

VII 考察：

- ・ 歯周病患者において欠損や咬合崩壊を伴っている場合、歯の位置異常などが生じ最終的な補綴設計に苦慮することがある。今回インプラントと矯正を利用し歯のポジションの改善と咬合の再構成を行った。インプラントで咬合回復を図ることで残存歯牙への負担を軽減し、それが歯周組織の安定にもつながると考えている。また矯正により審美性、咀嚼機能の回復に加えメンテナンスが容易な環境を図ることができる。ただ今回43の歯頸ラインが不揃いとなり、ブラークが付着しやすい状況となった。43部は

メンテナンスの度にチェックし経過を観察する予定である。

- ・23部には歯周外科処置として人工骨のみ補填した。この場合上皮性付着となり付着は弱いと考えられる。ただ組織がタイトで縁下へのプラークの侵入がコントロールできれば臨床的に炎症の再発は防げると考えられる。



2010.10.26

2016.5.12

VIII まとめ：

咬合崩壊を伴う歯周病患者にインプラント・矯正・補綴治療にて咬合再構成を行いメンテナンスに移行した症例を報告した。



新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 高岡 秀樹
診療所名 いつき歯科医院
(診療所) 〒861-2118
熊本市東区花立
2丁目6-1

電 話／096-331-2525

FAX／096-331-8148

生年月日 昭和51年3月31日
趣 味 旅行・ドライブ
好きな言葉 笑う門には福来たる



氏 名 川野 智美
診療所名 ともみっこ歯科
(診療所) 〒861-8075
熊本市北区清水
新地3丁目5-54

電 話／096-273-7961

FAX／096-273-7961

生年月日 昭和46年3月25日
趣 味 バードウォッチング
好きな言葉 人間万事塞翁が馬



氏 名 赤崎 幸太
診療所名 あかさき歯科
口腔クリニック
(診療所) 〒860-0824
熊本市南区十禅
寺2丁目8-45

電 話／096-277-1854

FAX／096-277-1954

生年月日 昭和56年11月17日
趣 味 音楽・ゴルフ・テニス
好きな言葉 実るほど頭を垂れる稲穂かな



スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

4月17日（日） 熊本地震の為に中止

6月26日（日）

20名

5月15日（日）			16名				
			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	関	剛一	48	45	93	25	68
2	合澤	康生	46	44	90	21	69
3	樋口	博一	45	40	85	15	70
4	河野	敬明	46	50	96	25	71
5	本田	治夫	54	50	104	28	76
B.B.	奈良	健一	50	48	98	15	83

			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	三隅	晴具	43	43	86	12	74
2	寺島	貴史	50	54	104	28	76
3	原田	雅史	48	47	95	19	76
4	中島	健	55	48	103	27	76
5	北川	隆之	44	45	89	12	77
B.B.	寺島	美史	67	62	129	37	92

お勧めのディスク 2016・8月

Lisa Ono - Japao

小野リサの70'sのニューミュージック集。たまぁにこういうのを聞くと（箸休め）心が洗われるようです。

じっくり湿った日本の歌に、ボサを基調にした乾いた声がひびきます。

こんな歌い方をしてくれる人がもっと出てくれたらなあ。

たまにはいるポルトガル語バージョンも新鮮です。

評判が良かったのか、3枚出ています。そのご、「asia」として東南アジアの曲集も作られました。

Bob Dylan - Fallen Angels

前作と同様、ディランの懐メロ集。50'sの曲がディランの曲に聞こえてしまいます。

自分も年取ったけど、ずっと聞いてきた彼らもずいぶん年をとったんだなあ、と感じます。

Brian Wilson - Live At The Roxy Theatre (2CD)

ブライアンが復活したころのライブ。まだ声に張りが残っているころでした。今はだいぶ衰えてしまいましたが。

「銀杏城（熊本城）と私」

北部1 田中 宏



銀杏の葉波打つ熊本城、小学校時代の城東小学校の校歌は、熊本城と一緒にの気持ちで忘れられない思い出と歓喜で一ぱいです。

- 1、銀杏城東朝夕に清正公の御徳を仰ぎて共に
学び行く吾等に強き理想あり
- 2、噴煙高き大阿蘇の流れは遠き白川の尽きせぬ
力鏡とし吾等に強き希望あり
- 3、肥後魂につちかいて五つの教え守りつつ人
たる道を修め行く吾等に強き歓喜あり

御幸橋を渡って直ぐ右側に「谷村計助」の銅像がありました。父と一緒に、お城に散歩した時には休けい乍ら、父から、西南の役の話や明治維新の偉い人の話をして呉れました。武者返しの石垣で築かれた城道を通り午砲台に登りました。阿蘇山を望んで素晴らしい光景です。

午砲台では元旦初日の出を拝み一年の計を立てました。

受験勉強時代には青雲の志を抱いて将来の希望で胸はふくらんで居りました。

午砲台からは、時刻を告げる大砲の音が「ドーン」と音で知らされていきました。

午前十時、正午、午後三時に合図されていま

した。

小学生の頃は熊本城の樹木はこんもりと茂っていて、夏休みの宿題の昆虫採集では、友だちと一緒に蚊に食はれ乍ら、セミを沢山獲っていました。あぶらぜみや、ちいぜみが沢山いました。

竹林が茂っていて、友だちと一緒に「肥後の守」で竹を切って、新聞紙を丸めて弾を作って紙鉄砲を作って遊びました。

宇土やぐらの入口には小さい池があって「オタマジャクシ」をすくって楽しんでいました。

春は桜、過ぎて青葉若葉のすがすがしい景色、銀杏樹の黄色く波打つ葉忘れられません。

2007年、築城四百年を記念して築城基地からブルーインパルス記念飛行がありました。その時の感激と歓喜は忘れる事はありません。

「当時の思い出」と共に人生よ有難とう。

平成28年6月 田中 宏（1933年生）



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
4 月28日	会務、会計、庶務報告
5 月26日	会務、会計、庶務報告
6 月22日	会務、会計、庶務報告

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月13日	・ ビアパーティについて ・ 歯科人間ドックについて ・ 障がい者歯科健診について

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月25日	・ スタッフ接遇セミナーについて ・ 労務講演会について ・ 医歯連携セミナーについて
5 月30日	・ 医療相談
6 月16日	・ 医歯連携セミナーについて ・ スタッフレベルアップセミナーについて

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 7 日	・ H28年度歯科診療報酬改定の内容協議
5 月11日	・ H28年度歯科診療報酬改定の内容協議
5 月16日	・ 熊本地震被災者の保険請求について ・ H28年度歯科診療報酬改定の内容協議 ・ 熊本地震被災者の保険請求について
6 月16日	・ 新入会員オリエンテーション協議 ・ カルテンジャーのカルテ記載について ・ 7 月までの診療窓口負担の免除について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 5 日	中岳173号 レイアウト
4 月17日	中岳173号 校正
4 月21日	中岳第一稿 校正
	シティFM出務者決め
5 月20日	中岳反省会
6 月28日	中岳目次決め

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月12日	・ 県歯との学術コラボ ・ 第一回 学術講演会について ・ γ-ナイフの学術研修会
5 月10日	・ さわやか大学講演会 ・ 第一回学術講演会について ・ γ-ナイフ講演会
6 月14日	・ さわやか大学 ・ 後期高齢者講演会 ・ カルテンジャー講演会 ・ 学術講演会の分担 ・ γ-ナイフ講演会
7 月 2 日	・ 後期高齢者健診事業について ・ 産業廃棄物の扱いについて ・ 平成28年度熊本市歯科医師会第一回学術講演会

地 域 学 校 歯 科 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 7 日	・ 歯の祭典全体会議
4 月20日	・ H28年歯みがき巡回指導担当者の決定について ・ 支援物資の分配について ・ 歯科医師会のTwitterの利用について
5 月12日	・ 歯の祭典の延期について ・ 歯みがき巡回指導の確認 ・ 歯の祭典について ・ 後期高齢者歯科検診説明会について
6 月15日	・ 鶴見大学ボランティアについて ・ 歯みがき巡回指導の経過とこれから ・ カルテンジャーの補足 ・ 10月30日 8020表彰式について ・ 県の歯の祭典について

編集後記

イギリスが国民投票の結果欧州連合の離脱を決定しました。
他のEU諸国と歩調を合せてやってきたようですが、何かしら無理が生じたの
でしょう。
やはり無理はいけませんよね。

(J . H)

熊本市歯科医師会会誌

第 174 号

発行日 平成28年 8月15日発行

発行所 一般社団法人熊本市歯科医師会
熊本市中央区坪井2丁目4番15号

<http://kcd8020.com/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 宮 本 格 尚

印刷所 コロニー印刷

熊本市西区二本木3丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294